

令和3年6月1日
株式会社ハル・インダストリ
企画開発室・研究室

除菌消臭ミスト液剤による
新型コロナウイルスの有効性に関する試験結果取得のお知らせ

日頃からご愛顧いただいております「除菌消臭ミスト液剤を使用した製品」におきましては、使用上、肌に触れたり、吸い込んだりする可能性があることから、安心してご利用いただけるよう予てより様々な安全性試験を実施してきました。機能性につきましても2010年にインフルエンザウイルス不活化試験、2013年に殺菌効力試験を実施しております。

更に本年5月、公立大学法人奈良県立医科大学（医学部）※¹及び一般社団法人MBTコンソーシアム（細井裕司理事長）※²ご協力のもと試験を実施し、除菌消臭ミスト液剤が新型コロナウイルスの不活化※³に効果があることが確認できましたのでお知らせ致します。

なお、今回の試験では液剤を空気中に噴霧した試験及び、空間に浮遊するウイルスへの効果、人体への影響については検証を行っておりません。（上述の通り各種安全性試験、機能性試験は他機関にて実施済みです。）

弊社は今後もお客様のお役に立てるよう製品の研究・開発・製造・販売を続けて参ります。

今後も変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

【MBT 新型コロナ感染対策の研究成果について(3) | 奈良県立医科大学】

<https://www.narmed-u.ac.jp/university/kenkyu-sangakukan/oshirase/mbtsars-cov-2-page3.html#halindustry>

【注】

- ※¹. 奈良県立医科大学（理事長・学長 細井裕司）：昭和20年4月創立、橿原市
- ※². MBT コンソーシアム（理事長 細井裕司）：医学的知識をすべての産業に投入してイノベーションを起こすMBT（Medicine-Based Town、医学を基礎とするまちづくり）の理念を達成するために設立された一般社団法人で、現在ほぼすべての業種から170社以上が参加している。
- ※³. ウイルスの不活化：ウイルスの感染性を失わせること

<ご参考>

1. 実施機関：奈良県立医科大学
2. 試験素材：除菌消臭ミスト液剤
3. 試験株：新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）
4. 試験内容：ASTM E1052 に準じて抗ウイルス効果を評価した。
5. 研究結果：本試験品を感染価 1.05×10^7 PFU/ml の新型コロナウイルスに接触させると、1 分後に 3.75×10^4 PFU/ml（減少率 99.642%）、10 分後に 5.50×10^2 PFU/ml（減少率 99.991%）に感染価は減少した。

以上